

宇部・山陽小野田消防局消防長賞

「火災や災害から命を守る行動」

宇部市立西岐波中学校 2年 ^{はなだ}花田 ^{けんご}健悟

一人ひとりの意識で火災は防ぐことが出来ると私は思いました。火の不始末で起こる火災はたくさんあります。不注意で起こる火災なら防ぐことができると思います。

しかし、たばこやたき火などにより、起こる火災は少なくはありません。どうしたら火災を減らすことができるだろう。そう思い私は消防団員である父に防火・防災活動について聞いてみようと思いました。

火災を減らすために、消防団はどのような活動をしているのかを父に聞くと、月に一回の訓練や地域の子供達と防火・防災について呼びかけたり、地域の避難訓練や防災活動に参加しているそうです。それだけではなく、地域の海岸清掃などの清掃活動や地域の祭りなどのイベントなどにも消防団が活動しているのを見たことがあります。消防団の活躍を見て私は、一人ひとりの意識と経験によって減らすことの出来る火災があるはずだ、ということを実感することが出来ました。なので、私も火災や防火について意識を高めるために、地域の防災活動に参加してみようと思いました。

そして、私は防災活動はどのような活動があるのかをインターネットで調べてみると、地域の公民館で、避難訓練や炊き出し訓練、地域のイベントなどで、消火器体験や地震体験などが行われていることを知ることが出来ました。火災や災害に備えるため、様々な活動が行われていることが分かりました。

我が家でも、火災報知器の点検や避難所の確認をしているけれど、もっと防

火・防災の意識を高めるため、積極的に防災活動に参加したりするなど、できることから積み重ね、火災や災害に備えようと思いました。

そして、私は防災設備について、知ることも大切だと思いました。いざという時も使い方を知っておくと、避難もスムーズに行うことが出来るのではないかと思います。防災設備についても調べてみると、家庭用の火災報知器には、煙などを感知する役割があり、火災による被害を六割減少させる効果があるということを知ることが出来ました。六割も被害を抑えることが出来ると知り、とても驚きました。それから、日頃の備えが大切だと思いました。

火災や災害はいつ何が起こるのかは、分からないけれど、日頃からの備えや、災害について知ること、被害を抑えることができます。そして、その被害を抑えることで、失うものも減るはずです。日頃の訓練を無駄にはせず、意識することで、もしもの時でも守るべきものが守れると思います。そして、大切な命を守るためには、一人ひとりの意識と、毎日の心掛けが大切だと、私は思いました。

